

図9 たん白質の食品群摂取構成(%) (全国)

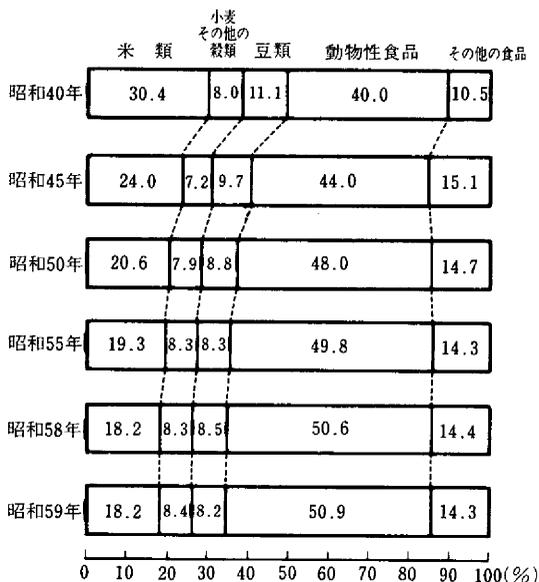
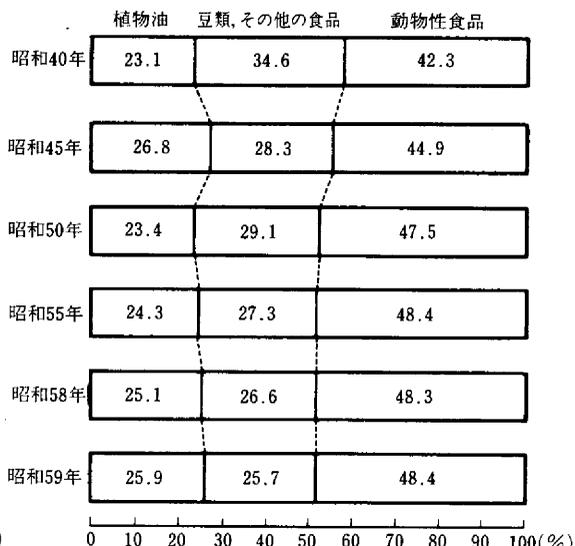


図10 脂肪の食品群別摂取構成(%) (全国)



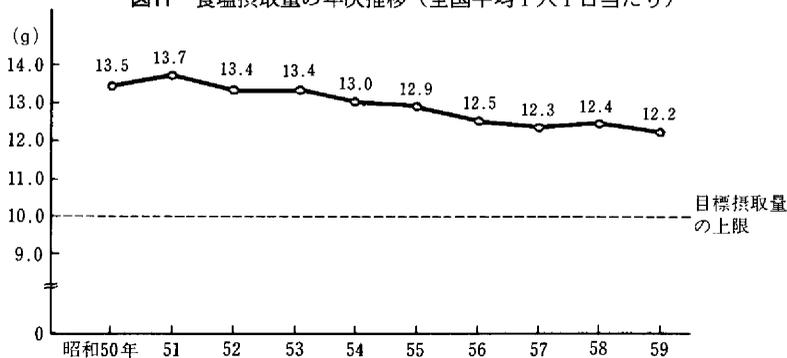
3. 食塩の摂取状況

——食塩摂取量は依然として東高西低であるが、全体的には減少の傾向——

(1) 全国平均1人1日当たり摂取量

昭和59年調査における全国平均1人1日当たり食塩摂取量は図11のとおり12.2gであり、前年と比べわずかながら減少がみられた。

図11 食塩摂取量の年次推移(全国平均1人1日当たり)



注) 日本人の栄養所要量(公衆衛生審議会答申)で示されている食塩の目標摂取量は1日10g以下

(2) 世帯業態別の摂取量

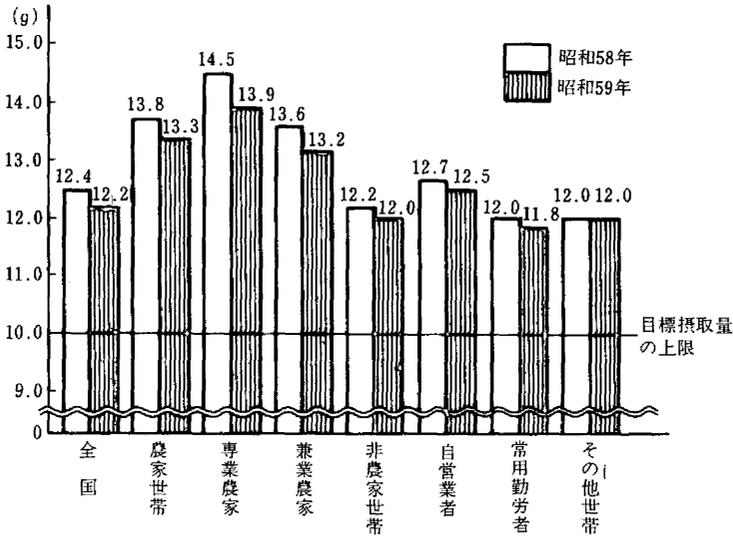
世帯業態別に食塩の摂取量を比較したものが図12である。

農家世帯と非農家世帯との比較では、農家世帯が13.3gであるのに対して、非農家世帯は12.0gとな

っている。

また、世帯業態を細分してみると、専業農家世帯が13.9gでもっとも高く、最低は常用勤労者世帯の11.8gであり、両業態間には2.1gの差がある。

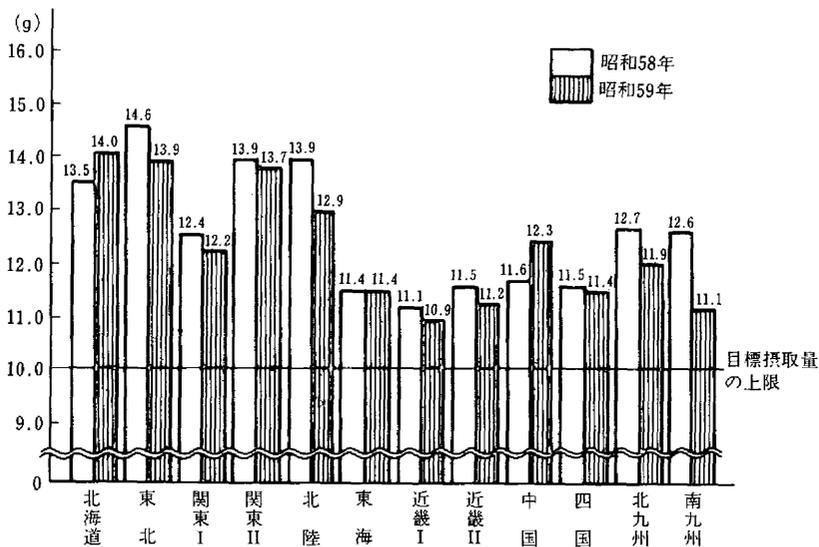
図12 世帯業態別の食塩摂取量（1人1日当たり）



(3) 地域ブロック別の摂取量

また、地域ブロック別に食塩の摂取量をみると依然として東高西低であるが、図13のとおり一部の地域を除き全体的には減少の傾向がみられた。

図13 地域ブロック別食塩摂取量（1人1日当たり）



(40)

(参考)

ブロック	都道府県名
北海道	北海道
東北	青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県
関東	埼玉県, 千葉県, 東京都, 神奈川県
関東	茨城県, 栃木県, 群馬県, 山梨県, 長野県
北陸	新潟県, 富山県, 石川県, 福井県
東海	岐阜県, 愛知県, 三重県, 静岡県
近畿	京都府, 大阪府, 兵庫県
近畿	奈良県, 和歌山県, 滋賀県
中国	鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県
四国	徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県
九州	福岡県, 佐賀県, 長崎県, 大分県
九州	熊本県, 宮崎県, 鹿児島県, 沖縄県

(4) 食品群別の摂取構成

食塩の食品群別摂取構成をみると図14のとおり、調味料から摂取する食塩は54.9%で、その内訳はしょうゆが25.4%、味噌が15.2%、食塩が11.2%などとなっている。一方、調味料以外の食品からの食塩は45.1%で、魚介加工品が9.9%、つけものが8.0%、小麦加工品が6.5%などとなっている。

また、食塩の食品群別摂取量の割合について年次推移をみると図15のとおりである。

図14 食塩の食品群別摂取構成

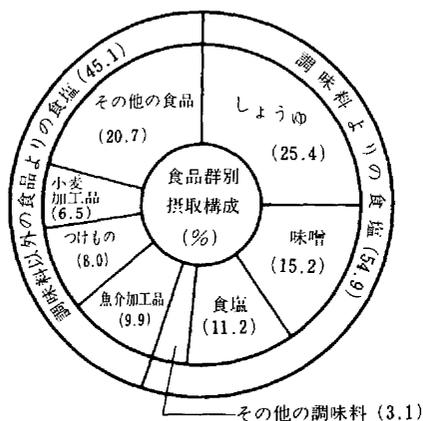
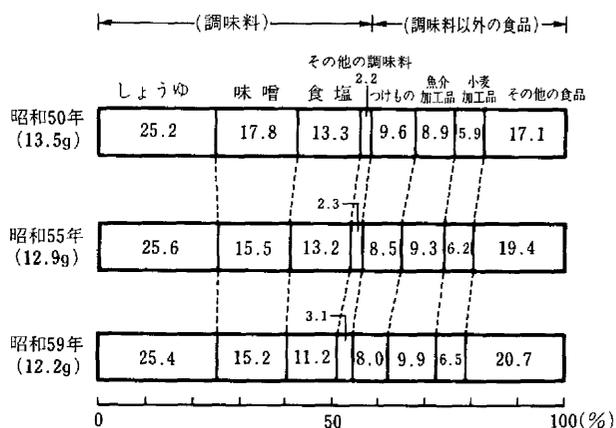


図15 食塩の食品群別摂取構成の年次推移 (%)



4. 身体状況

(1) 肥満の状況

皮下脂肪厚（上腕背部+肩甲骨下部）の測定結果による肥満者（男40mm以上、女50mm以上）の状況は表3のとおりである。

ここ数年の年次推移をみた場合、男女各年齢階級とも年によって若干の増減をくり返している。